

かんど 漢人あきこの 市議会レポート NO.99

2008.11/25 発行



市民自治こがねい 小金井市本町2-19-36 Tel/Fax 042-387-3787
小金井市議会 みどりの風 本町6-6-3 Tel.383-1111(2819)

12月議会 11/27~12/18

主な議案

小口事業資金融資制度の 保証料アップ

12月から来年3月まで全額市負担とする
緊急時限措置。予算249万8千円

市税条例の全面改正

25年前制定、192回も改正して分かり
難かった市税賦課徴収条例を市税条例、都
市計画税条例、国民健康保険税条例に分割。

誰のため？ 出産一時金アップ と「産科医療補償制度」

国民健康保険の出産一時金40万円を3万
円アップする条例改正が提案されています。
これは来年1月から始まる「産科医療補償
制度」の掛け金分への対応。出産による脳
性マヒ児のみを対象に3000万円の補償を
しようというのですが、医療機関の事務
や設備の負担は大きく、民間保険会社が扱
う100億円とも言われる余剰金の行方が
不透明など、問題の多い制度です。

「権利」のない・・・子ども条例

市民参加の条例案から後退して提案さ
れた子ども条例は、5日の厚生文教委員
会の議題です。国連子どもの権利条約は
日本には当てはまらないかのような答弁
も出てきて?? 人権を脅かしているの
は戦争や貧困だけではありません。

漢人の一般質問

11/30(日曜議会)16:30頃から

市民交流センターと小中学校の CO₂を大幅カット

地球温暖化対策実行計画(市役所版)の目標達成のために
2010年開設予定の(仮称)市民交流センターのCO₂排出予測
は1200tで、計画の目標である2010年の市施設全体の排出量
4597tの4分の1に相当する膨大な量です。大幅カットに向け
た施設の見直しは緊急課題。着工してからでは非効率です。
小中学校施設からのCO₂排出量は市施設全体の排出量の4分
の1を占めています。環境教育としても位置づけた積極的な取
り組みを求めます。各校ごとのCO₂排出量一覧、裏面参照

性的マイノリティーへの理解と支援を 12/3(水)午後
差別・偏見・社会的不利益などの実態の把握状況、人権施策と
しての市の基本的な考え方を確認します。

総合的な相談窓口の設置、教職員、特に相談窓口担当者や養護
教諭、スクールカウンセラーの研修の実施を求めます。

学校での理解を促す教育や当事者への配慮が必要です。

市民の理解を広げる記事を市報などに掲載しませんか。

平日にお仕事などで傍聴に来られない方
にも議会の様子を知っていただくため、
日曜議会を開催しています。
今回は22人の議員による一般質問です。

11/30(日)10:00~19:00
*手話通訳があります

インターネット配信は、市ホームページで
12/3(水)~1/5(月)

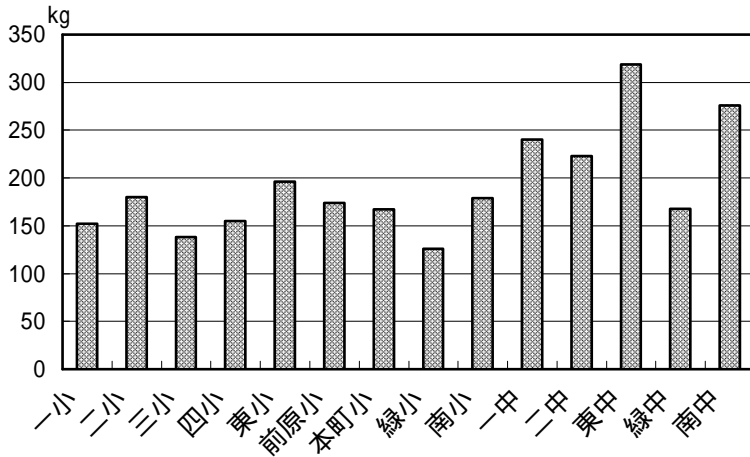
詳しくは市ホームページ参照/問合せ先:議会事務局 042-387-9947

日曜議会
&
インターネット
配信



市内小中学校CO₂排出量 児童生徒一人あたり05~07平均

昨年、省エネ診断を受けた学校は類似地域と比べて10~30%多消費傾向と指摘されました。学校間の排出量の差も大きく、施設・設備、省エネ取り組みなどの比較検討によって、大いに削減の余地がありそうです。



緑町在住 48才
1997年より小金井市議
厚生文教委員
議会運営委員
駅周辺整備調査特別委員
ごみ処理施設建設等調査特別委員

12月議会の日程

- 11/27(木)28(金) 本会議
- 30(日) 日曜議会(一般質問)
- 12/2(火)3(水) 本会議(一般質問)
- 5(金) 厚生文教委員会
- 8(月) 建設環境委員会
- 9(火) 総務企画委員会
- 10(水) 予算特別委員会
- 11(木) 駅周辺整備調査特別委員会
- 12(金) 行財政改革調査特別委員会
- 15(月) ごみ処理施設建設等調査特別委員会
- 18(木) 本会議

エコでピースな「みどりの未来」発足!

「オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう。
死んだ川にどうやってサケを呼び戻すのか、あなたは知らないでしょう。
絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、あなたは知らないでしょう。
そして、今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。
どうやって直すのか分からないものを 壊し続けるのはもうやめて下さい。」

* 「あなたが世界を変える日」(セヴァン・カリス=スズキ/著 ナマケモノ倶楽部/編・訳 学陽書房)より

1992年、リオの国連地球環境サミットで、当時12才の少女が世界各国のリーダーの前で行ったスピーチです。

私は、地球環境と共存できる持続可能で身の丈にあった営みを望みます。富を一握りの人が独占することのない公正な社会、資源を戦争で奪い合うのではなく分かち合う世界を望みます。多様な価値観が認められ草の根の市民活動が支える社会を望みます。

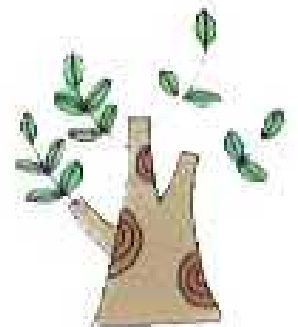
そのために、無所属市民派の自治体議員を中心にみどりの理念を基盤として政策研究や情報交換に取り組む「虹と緑の500人リスト」と、日本に「みどりの党」をつくらうとスタートした「みどりのテーブル」に参加してきました。

11月22日、この二つのグループが合流し、「みどりの未来」という全国ネットワークとして新たな一歩を踏み出しました。

NGO・NPO、市民と自治体議員が、それぞれの持ち味と力を合わせ、高めあう、新しい政治スタイルへのチャレンジです。

興味のある方、ぜひご連絡ください。

新しい選択肢、「みどりの政治」を一緒に作りませんか?



<http://www.greens.gr.jp>